

民間プール活用モデル事業

令和4年12月

箕面市教育委員会

豊能・三島地域
ブロック会議資料

箕面市の概要



項目	員数
世帯数 <small>令和4年7月1日現在</small>	62,646世帯
人口 <small>令和4年7月1日現在</small>	138,908人
小学校 <small>(※小中一貫校前期課程を含む) <small>令和4年5月1日現在</small></small>	学校数： 14校 児童数： 8,912人
中学校 <small>(※小中一貫校後期課程を含む) <small>令和4年5月1日現在</small></small>	学校数： 8校 生徒数： 3,816人

民間プール活用モデル事業概要

項目	内容
実施校	箕面市立北小学校
対象児童	全児童252名
委託先業者	かやの中央スイミングスクール
水泳指導回数	6回（1回あたり50分の水泳指導）
移動方法	スイミングスクールバス
利用期間	令和4年6月～12月※参加できなかった児童を対象に冬季に補講を実施予定
水泳授業概要	<p>○スイミングスクールの専門インストラクターが、泳力別に3から4つのグループに分け、1回あたり50分間水泳指導をする。</p> <p>○教員は水泳授業に付き添い、児童を見守るとともに、専門インストラクターの水泳指導方法を学ぶ。</p> <p>○1回の授業で約50名の児童（2クラス）が参加。</p> <p>○支援学級に在籍する児童など個別対応が必要な児童については、ノウハウのある専門インストラクターが、教員と連携しながら、一緒に水泳指導する。</p>
授業スケジュール	<p><u>3、4限の場合</u></p> <p>10：25 学校発</p> <p>10：45 スクール着</p> <p>11：00～11：50 水泳指導（50分間）</p> <p>12：05 スクール発</p> <p>12：25 学校着</p>

実施に至った経緯と実施調整の進め方

■実施に至った経緯

○北小学校から、天候に左右されず環境の安定した民間プールを活用し、民間専門インストラクターの水泳指導方法を学びたいとの要望があり教育委員会で検討した。

○検討した結果、民間専門インストラクターの水泳指導により、児童の水泳運動力を高めることや教職員の水泳指導力を向上させることができるとともに、北小学校の児童数規模であれば、プール維持費の長期的な財政効果も得られることから、北小学校をモデル校として民間プール活用モデル事業を実施することにした。

■実施調整の進め方

年月	内容
令和3年12月	・北小学校からの要望を受けて教育委員会で検討 ・学校と教育委員会で授業計画案作成
令和4年3月	・議会説明→議会審議→議決 ・保護者説明
令和4年5月	・業者と契約締結
令和4年6月	・民間スイミングスクール利用開始

民間スイミングスクールを活用することにより期待されるメリット

■ 期待されるメリット

○児童が専門インストラクターから指導を受けることにより、泳力を高めることができる。

○教員が専門インストラクターの水泳指導方法を学ぶことにより、水泳授業の指導力を高めることができる。

○気温や天候に左右されず民間プール施設を利用できるため、計画的に水泳授業を実施することができる。

○学校のプールの掃除や維持管理にかかる教員の負担を軽減することができる。

児童、教員、保護者からの声と今後の方向性

■ 児童、教員、保護者からの声

児童	教員	保護者
<p>○泳力が高まったと思うから来年もできることならスイミングスクールで学習したい。</p> <p>○泳ぐことがすごく好きになったし、すごく楽しいと感じた。</p> <p>○泳ぎ方が正しくなったと思う。学校の水泳指導より、泳ぐのがきれいになったり速くなった気がする。</p>	<p>○スモールステップの目標を設け、どの児童も不安なくできそうと思えるものから取り組む指導方法が参考になった。</p> <p>○クロールの手の動かし方や平泳ぎの足の使い方など技術的な声掛けが参考になった。</p> <p>○水質管理をしなくてよかったので、働き方改革に繋がった。</p>	<p>○天候に左右されず水泳授業ができる点が良い。</p> <p>○もう少し回数が増えればさらに効果が高まると思う。</p> <p>○着衣泳の機会があれば有難い。</p> <p>○来年度もぜひ専門インストラクターによる水泳指導を実施してほしい。</p>

■ 今後の方向性

今後、民間スイミングスクールを活用した水泳授業の教育的効果、財政効果や課題などを総合的に検証し、令和5年度以降の継続や、その他の学校への拡大について検討する。